

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2022年11月9日
【四半期会計期間】	第166期第2四半期（自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）
【会社名】	川西倉庫株式会社
【英訳名】	KAWANISHI WAREHOUSE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川西 二郎
【本店の所在の場所】	神戸市兵庫区七宮町一丁目4番16号
【電話番号】	神戸 078(671)7931(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 米井 雄一
【最寄りの連絡場所】	神戸市兵庫区七宮町一丁目4番16号
【電話番号】	神戸 078(671)7931(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 米井 雄一
【縦覧に供する場所】	川西倉庫株式会社 大阪支店 （大阪市中央区本町三丁目2番8号） 川西倉庫株式会社 名古屋支店 （名古屋市中区栄二丁目4番18号） 川西倉庫株式会社 京浜支店 （横浜市中区太田町二丁目23番地） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第165期 第2四半期連結 累計期間	第166期 第2四半期連結 累計期間	第165期
会計期間	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2021年4月1日 至 2022年3月31日
営業収益 (千円)	11,152,298	13,932,248	23,618,818
経常利益 (千円)	519,879	760,660	862,740
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	322,005	492,701	523,152
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	492,583	1,352,457	919,969
純資産額 (千円)	19,714,973	21,386,295	20,080,332
総資産額 (千円)	35,230,578	38,041,238	36,883,964
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	42.17	64.43	68.46
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.4	48.9	47.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	865,106	1,509,147	1,320,406
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,148,803	370,983	2,134,662
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,010,653	72,733	1,214,970
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	4,247,073	5,224,111	3,975,234

回次	第165期 第2四半期連結 会計期間	第166期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2021年7月1日 至 2021年9月30日	自 2022年7月1日 至 2022年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	20.39	24.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
3. 1株当たり四半期(当期)純利益の算定上の基礎となる普通株式の期中平均株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（国際物流事業）

当第2四半期連結会計期間において、KAWANISHI LOGISTICS (AMERICAS) INC.を新規設立しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済社会活動が正常化に進む中で、7月以降の新型コロナウイルス感染症の急拡大に加えて、資源・エネルギー価格の上昇や急速な円安の進行もあり、今後も不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと当社グループは、2024年度を最終年度とする中期経営計画『Vision2024物流イノベーションへの挑戦』で掲げる、物流センターの機能拡充や運送部門強化、海外物流業務の強化による既存事業の拡大・強化、次世代型物流倉庫の建設や基幹システム再構築の検討など、成長に向けた取組と戦略的投資の調査研究に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

a. 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益や国内及び海外での消費税及び付加価値税の還付等により現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加し38,041百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、支払手形及び営業未払金の減少等により前連結会計年度末に比べ148百万円減少の16,654百万円となり、また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加、円安の影響による為替換算調整勘定及び非支配株主持分の増加により、前連結会計年度末に比べ1,305百万円増加の21,386百万円となりました。

b. 経営成績

当第2四半期連結累計期間においては、国内物流事業では、昨年同期から回復基調であった貨物の荷動きが依然として好調に推移し、倉庫業、港湾運送業、運送業等の各事業で前年同期を上回り、国際物流事業についても海上運賃が引き続き高水準で推移したほか、為替の影響や貨物の取扱いも堅調に推移したことにより、営業収益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については前年同期を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比24.9%増加の13,932百万円、営業利益は前年同期比53.3%増加の712百万円、経常利益は前年同期比46.3%増加の760百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比53.0%増加の492百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

国内物流事業

国内物流事業においては、貨物の取り扱いが堅調に推移し、倉庫業務においては出入庫高、保管高とも前年同期を上回り、神戸港での港湾運送取扱業務についても前期に引き続き好調に推移したほか、貨物運送取扱業務等も堅調に推移いたしました。また、昨年11月に横浜で稼働した新倉庫の影響もあり営業収益は前年同期に比較して増加いたしました。

その結果、営業収益は前年同期比10.3%増加の9,913百万円となり、セグメント費用は貨物の増加による再保管費用の増加や資源価格の上昇等による電力費の増加、昨年に稼働した新倉庫の減価償却費も増加したことにより、前年同期比10.9%増加の9,156百万円となりました。このためセグメント利益は前年同期比3.6%増加の757百万円となりました。

国際物流事業

国際物流事業においては、輸出入貨物の増加、為替や海上運賃マーケットの影響、海外子会社の業績も堅調に推移したことにより営業収益およびセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は前年同期比93.8%増加の3,814百万円、セグメント利益は前年同期比210.7%増加の331百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業並びに太陽光発電の売電事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比1.9%増加の211百万円、セグメント利益は前年同期比6.6%増加の139百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が764百万円となり、減価償却費、有形固定資産の取得による支出、短期借入金の純増額、長期借入金の返済による支出等により前連結会計年度末に比べ1,248百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には5,224百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は1,509百万円（前年同期は865百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益764百万円、減価償却費578百万円、法人税等の支払額270百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は370百万円（前年同期は1,148百万円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出318百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は72百万円（前年同期は1,010百万円の獲得）となりました。これは主として、短期借入金の純増額399百万円、長期借入金の返済による支出383百万円、配当金の支払額46百万円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2022年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2022年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,258,322	8,258,322	(株)東京証券取引所 スタンダード市場	単元株式数 100株
計	8,258,322	8,258,322	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2022年7月1日～ 2022年9月30日	-	8,258,322	-	2,108,000	-	1,862,230

(5) 【大株主の状況】

2022年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
大和製衡株式会社	兵庫県明石市茶園場町5 - 22	1,293	16.57
川西 多美	兵庫県芦屋市	564	7.22
川西 央也	神戸市東灘区	488	6.25
日本毛織株式会社	神戸市中央区明石町47	380	4.86
川西 康夫	東京都品川区	324	4.15
川西 二郎	兵庫県芦屋市	223	2.85
多島 晶子	名古屋市千種区	218	2.79
大嶽 敬子	東京都目黒区	206	2.63
株式会社川西勝三商会	兵庫県西宮市苦楽園4 - 7 - 39	201	2.57
日本マスタートラスト信託銀行株 式会社(信託口)	東京都港区浜松町2 - 11 - 3	200	2.57
計	-	4,099	52.50

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2022年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 452,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,803,100	78,031	-
単元未満株式	普通株式 3,122	-	-
発行済株式総数	8,258,322	-	-
総株主の議決権	-	78,031	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数10個)が含まれております。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する株式159,400株(議決権の数1,594個)が含まれております。

【自己株式等】

2022年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 川西倉庫株式会社	神戸市兵庫区七宮町1 - 4 - 16	452,100	-	452,100	5.47
計	-	452,100	-	452,100	5.47

(注) 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する株式159,400株については、上記の自己株式等には含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2022年7月1日から2022年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、神陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,111,474	5,371,261
受取手形、営業未収入金及び契約資産	3,953,992	3,901,770
その他	986,019	623,348
貸倒引当金	410	372
流動資産合計	9,051,076	9,896,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,556,535	11,384,010
機械装置及び運搬具（純額）	1,786,512	1,707,090
工具、器具及び備品（純額）	131,846	163,507
土地	6,287,438	6,364,118
リース資産（純額）	845,252	807,709
建設仮勘定	1,975,056	2,272,505
有形固定資産合計	22,582,642	22,698,941
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	748,157	742,018
無形固定資産合計	2,645,692	2,639,553
投資その他の資産		
投資有価証券	1,092,287	1,200,391
長期貸付金	1,767	1,430
繰延税金資産	56,548	55,272
退職給付に係る資産	183,472	173,520
差入保証金	796,194	805,273
その他	477,882	574,446
貸倒引当金	3,600	3,600
投資その他の資産合計	2,604,553	2,806,733
固定資産合計	27,832,888	28,145,229
資産合計	36,883,964	38,041,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,883,675	1,776,324
短期借入金	743,204	1,132,527
リース債務	91,152	92,564
未払法人税等	262,723	272,120
賞与引当金	286,529	297,911
役員賞与引当金	1,178	439
その他	414,174	290,639
流動負債合計	3,682,640	3,862,527
固定負債		
長期借入金	9,722,382	9,348,815
リース債務	296,245	253,630
繰延税金負債	169,160	203,672
役員株式給付引当金	83,794	93,610
退職給付に係る負債	1,155,931	1,195,472
資産除去債務	447,474	449,241
その他	1,246,003	1,247,973
固定負債合計	13,120,991	12,792,416
負債合計	16,803,632	16,654,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,898,242	1,907,539
利益剰余金	13,801,191	14,247,397
自己株式	552,611	561,908
株主資本合計	17,254,823	17,701,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279,720	361,488
繰延ヘッジ損益	6,002	29,568
為替換算調整勘定	40,045	455,831
退職給付に係る調整累計額	74,263	65,367
その他の包括利益累計額合計	388,027	912,256
非支配株主持分	2,437,481	2,773,009
純資産合計	20,080,332	21,386,295
負債純資産合計	36,883,964	38,041,238

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日)
営業収益	11,152,298	13,932,248
営業原価	9,575,733	11,964,622
営業総利益	1,576,565	1,967,626
販売費及び一般管理費	1,112,118	1,255,530
営業利益	464,446	712,096
営業外収益		
受取利息	36,746	14,007
受取配当金	22,424	24,206
為替差益	418	20,463
不動産賃貸料	7,665	10,052
その他	15,587	8,096
営業外収益合計	82,842	76,825
営業外費用		
支払利息	27,410	28,260
営業外費用合計	27,410	28,260
経常利益	519,879	760,660
特別利益		
固定資産売却益	3,347	580
投資有価証券売却益	-	1,577
補助金収入	6,192	4,925
特別利益合計	9,539	7,083
特別損失		
固定資産除却損	505	659
投資有価証券売却損	-	1,348
環境対策費	240	-
事務所移転費用	7,573	-
外国付加価値税等	3,528	1,334
特別損失合計	11,847	3,342
税金等調整前四半期純利益	517,571	764,402
法人税、住民税及び事業税	187,066	276,360
法人税等調整額	1,612	12,186
法人税等合計	188,678	288,546
四半期純利益	328,893	475,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,111	7,526
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,782	468,330

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	332,117	500,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,509	81,767
繰延ヘッジ損益	24,003	35,571
為替換算調整勘定	200,929	743,786
退職給付に係る調整額	9,951	8,895
その他の包括利益合計	160,466	852,229
四半期包括利益	492,583	1,352,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,442	1,016,929
非支配株主に係る四半期包括利益	91,140	335,527

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	517,571	764,402
減価償却費	507,549	578,338
のれん償却額	1,168	1,167
貸倒引当金の増減額(は減少)	35	38
賞与引当金の増減額(は減少)	5,698	11,381
役員賞与引当金の増減額(は減少)	672	739
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	37,339	36,679
役員株式給付引当金の増減額(は減少)	5,953	9,816
受取利息及び受取配当金	59,170	38,213
支払利息	27,410	28,260
有形固定資産除却損	505	659
有形固定資産売却損益(は益)	3,347	580
投資有価証券売却損益(は益)	-	229
売上債権の増減額(は増加)	125,451	52,221
仕入債務の増減額(は減少)	51,515	107,351
その他	93,613	428,924
小計	757,554	1,764,700
利息及び配当金の受取額	107,820	44,084
利息の支払額	27,798	28,658
法人税等の支払額	54,808	270,979
法人税等の還付額	82,339	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	865,106	1,509,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	658,735	81,108
有形固定資産の取得による支出	1,684,758	318,137
無形固定資産の取得による支出	30,996	28,238
有形固定資産の売却による収入	3,065	3,981
固定資産の除却による支出	-	110,000
投資有価証券の取得による支出	51,034	1,830
投資有価証券の売却による収入	-	13,008
ゴルフ会員権の取得による支出	-	3,431
長期貸付金の回収による収入	331	336
差入保証金の差入による支出	60,310	3,320
差入保証金の回収による収入	17,500	984
長期前払費用の取得による支出	1,242	450
その他	94	4,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,148,803	370,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	600,300	399,715
長期借入れによる収入	922,000	-
長期借入金の返済による支出	424,100	383,960
リース債務の返済による支出	41,050	41,992
配当金の支払額	46,495	46,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,010,653	72,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,893	183,446
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	771,849	1,248,877
現金及び現金同等物の期首残高	3,475,223	3,975,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,247,073	5,224,111

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、KAWANISHI LOGISTICS (AMERICAS) INC.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役(監査等委員である取締役、社外取締役を除く。)及び執行役員に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を2016年9月5日より導入しております(以下、「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結財務諸表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において96,168千円、102千株、当第2四半期連結会計期間末において156,482千円、159千株であります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結会計期間においては、前連結会計年度の会計上の見積りの内容から変更は行っておりません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報酬及び給料	531,847千円	575,146千円
賞与引当金繰入額	89,080	97,207
退職給付費用	22,737	21,784
減価償却費	23,534	24,126

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
現金及び預金勘定	5,182,504千円	5,371,261千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	935,431	147,150
現金及び現金同等物	4,247,073	5,224,111

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月25日 定時株主総会	普通株式	46,495	6	2021年3月31日	2021年6月28日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託(BBT)に係る信託口が保有する当社株式に対する配当金720千円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月8日 取締役会	普通株式	61,994	8	2021年9月30日	2021年12月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託(BBT)に係る信託口が保有する当社株式に対する配当金820千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	46,495	6	2022年3月31日	2022年6月29日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託(BBT)に係る信託口が保有する当社株式に対する配当金615千円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年11月8日 取締役会	普通株式	70,255	9	2022年9月30日	2022年12月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託(BBT)に係る信託口が保有する当社株式に対する配当金1,434千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	8,985,537	1,968,164	10,953,701	198,596	11,152,298	-	11,152,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	9,364	9,364	9,364	-
計	8,985,537	1,968,164	10,953,701	207,961	11,161,663	9,364	11,152,298
セグメント利益	731,025	106,676	837,702	130,511	968,213	503,766	464,446

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 503,766千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 502,804千円及びその他の調整額 962千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,913,425	3,814,235	13,727,661	204,587	13,932,248	-	13,932,248
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	7,283	7,283	7,283	-
計	9,913,425	3,814,235	13,727,661	211,870	13,939,532	7,283	13,932,248
セグメント利益	757,265	331,429	1,088,694	139,074	1,227,769	515,673	712,096

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 515,673千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 514,702千円及びその他の調整額 971千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	国内物流	国際物流	計		
営業収益					
倉庫保管料	2,464,763	39,303	2,504,067	-	2,504,067
倉庫荷役料	1,116,529	10,767	1,127,297	-	1,127,297
港運及び関連収入	698,069	321,506	1,019,575	-	1,019,575
運送収入	3,687,513	1,596,586	5,284,100	-	5,284,100
その他	1,017,470	-	1,017,470	103,454	1,120,924
顧客との契約から生じる 営業収益	8,984,347	1,968,164	10,952,511	103,454	11,055,965
その他の収益	1,190	-	1,190	95,142	96,333
外部顧客への営業収益	8,985,537	1,968,164	10,953,701	198,596	11,152,298

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	国内物流	国際物流	計		
営業収益					
倉庫保管料	2,842,996	61,317	2,904,313	-	2,904,313
倉庫荷役料	1,226,934	24,354	1,251,289	-	1,251,289
港運及び関連収入	825,827	338,980	1,164,807	-	1,164,807
運送収入	3,942,291	3,389,583	7,331,875	-	7,331,875
その他	1,074,184	-	1,074,184	102,786	1,176,970
顧客との契約から生じる 営業収益	9,912,235	3,814,235	13,726,471	102,786	13,829,257
その他の収益	1,190	-	1,190	101,801	102,991
外部顧客への営業収益	9,913,425	3,814,235	13,727,661	204,587	13,932,248

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり四半期純利益	42円17銭	64円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	322,005	492,701
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	322,005	492,701
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,636	7,646

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている信託が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第2四半期連結累計期間において112千株、当第2四半期連結累計期間において110千株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2022年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額 70,255千円

(ロ) 1株当たりの金額 9円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2022年12月7日

(注)2022年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2022年11月9日

川西倉庫株式会社
取締役会 御中

神陽監査法人
兵庫県神戸市

代表社員 公認会計士 川本 章雄
業務執行社員

代表社員 公認会計士 松井 大輔
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川西倉庫株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2022年7月1日から2022年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川西倉庫株式会社及び連結子会社の2022年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。